

なごや市会だより

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶

議会の活動

令和7年(2025年)10月臨時号



「なごや子ども市会」

特 集 号

名古屋市会では、市内に在住・在学している小学5・6年生が、自分たちの住むまちの議会という身近な場を実際に体験することによって、市政に対する興味・関心を高めることを目的とした「なごや 子ども市会」を開催しました。539人の方に応募いただき、抽選を経て、開催当日は110人の方が子ども議員として参加しました。

今回の臨時号では、「なごや 子ども市会」の様子を紹介します。

なごや子ども市会では、議会や市役所について学んだり、いつもはなかなか入れない議場や部屋に入って写真を撮ったりしたよ。当日の様子をレポートするよ!

令和7年度

なごや子ども市会

メイン
テーマ

大好きな名古屋を笑顔あふれるまちにしよう



発行/名古屋市会 〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 TEL 972-2094 FAX 972-4100

発行日/令和7年10月1日

編集/名古屋市会編集委員会(編集委員長:北野よしはる議員(自民) 編集委員:赤松哲次議員(民主)、辻まさお議員(公明)、大田とみひこ議員(減税))

令和7年度 なごや子ども市会レポート

本会議場(議場)

議長席からは、議場のみんなの顔がとてもよく見えるよ!

議員が全員集まる会議を「本会議」といいます。本会議では、市民のために市が何をするかを話し合い、最終的な決定を行います。

天井は、格天井という名古屋城の本丸御殿でも使われている立派な造りになっているよ。

本会議場は「話し合いが丸く進むように」という思いを込めて、全国でも珍しい丸い形にしたと言われているんだって!

名古屋市の旗と国旗が飾られているよ。

座席にある札の一部は、昔に作られたものを大切に使い続けているんだって!

名古屋市役所ではたくさんの職員さんが働いていると聞いたよ。どんな仕事をしているの?

市役所にはさまざまな仕事を行うたくさんの部署があり、3万人を超える職員さんが、議会において決まった条例(市が行う仕事や市民の皆さんに守ってもらうルール)や予算(市のお金の使い方)などに基いて仕事をしています。例えば、教育委員会では新しい学校の開校の準備、タブレットなどの教材の用意、科学館や美術館の運営などを行っています。

名古屋市はどんな都市と交流があるの?

名古屋市は、平成23年に発生した東日本大震災の時にまちの復興やまちづくりのお手伝いをしたことをきっかけに、岩手県陸前高田市とさまざまな交流を行っています。令和3年には陸前高田市から津波に流されずに残った「きせきの一本松」の遺伝子を受け継ぐ松の木が贈られ、東山動植物園に植えられました。



初めて名古屋市の職員が陸前高田市に行った「きずなの日」(3月23日)を広く知ってもらうために作られた曲です。

また、名古屋市は世界の6つの都市と姉妹友好都市提携を結んでおり、名古屋市会も定期的に訪問し交流を行っています。

名古屋市の 姉妹友好都市



ロサンゼルス市
(アメリカ)



メキシコ市
(メキシコ)



南京市
(中国)



シドニー市
(オーストラリア)



トリノ市
(イタリア)



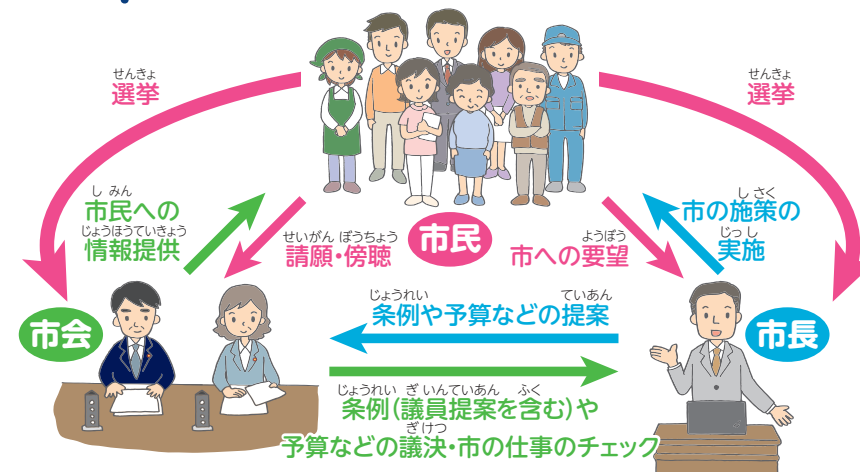
ランス市
(フランス)



そもそも...
市会って何だろう?

私たちが住む名古屋市を暮らしやすいまちにするために、市民の代表者として議員が話し合いをするところを「議会」といい、名古屋市では「名古屋市会」と呼ばれています。

市会議員はどんなお仕事をしているの?



皆さんが住む名古屋市が暮らしやすいまちになるよう、選挙で選ばれた市民の代表として活動するのが市会議員です。市会議員の大きな仕事の一つは、市民から出された意見や要望を聞き、条例や予算について、市会で話し合いを行って、賛成なのか反対なのかを決めていくことです。また、市の仕事が正しく行われているかチェックしたり、市だけでは解決できない問題について、県や国に働きかけを行ったりもしています。

一方、市長は、市の仕事を行う責任者として、市会の決定に沿って仕事を進めています。市会と市長の両方が、それぞれしっかりと役割を果たすことで、よりよい名古屋のまちが実現できる仕組みになっています。

委員会室



机は馬のひづめのような形になっているんだね。

名古屋市には、とても多くの仕事があるので、本会議ですべてを話し合うことはできません。そこで、少人数でくわしく話し合う場所として「委員会」がつくられています。

市会には、6つの「常任委員会」があって、すべての議員がどこかの委員会に所属して、それぞれ専門的に話し合いを行っています。

このほか、特に必要な問題を調査するために設置した「特別委員会」や市会の運営方法を話し合う「議会運営委員会」があります。

議長室

議長室や大切なお客様をお招きする正副議長応接室を見学し、西川学議長・さわだ晃一副議長から説明を聞きました。



議長室

議長室には、姉妹友好都市の市旗が飾られているよ。



正副議長応接室

子ども議員のみなさんが感想や意見を発表しました

「なごや 子ども市会」の締めくくりとして、西川学議長の進行のもと、子ども市会に参加した感想や意見の発表を行いました。また、アンケートでも「大好きな名古屋を笑顔あふれるまち」にするためのアイデアをたくさんいただきましたので、一部を紹介します。

今日の市会で、議会の役割とか、名古屋市のためにいろいろな人が協力しているということがすごくよくわかって、今日は勉強になりました。

陸前高田市と名古屋市の交流のきっかけを知れて面白かったです。他の外国の都市との交流のきっかけも調べてみたいと思いました。

道端にごみのない、きれいなまちづくり。お花があるまちづくり。みんなで掃除をしたり、同じ立場で話したりできるまちづくり。

ふだんの学校生活では学べないことが学べてよかったと思います。

いろいろな世代と交流する機会があると、昔の人の考え方や今の人の考え方がよくわかり、相手の気持ちを考えることができるから、けんかなども減って笑顔あふれる名古屋市になると思います。

名古屋の伝統などを広めていくと思います。

名古屋を笑顔あふれるまちにするために、どうしたらいいかな？

議長・副議長から子ども議員をはじめとする参加者へのメッセージ

子ども議員をはじめとする参加者の皆さん、夏休みの貴重な1日に、なごや子ども市会にご参加いただきありがとうございます。

子ども市会では、名古屋市の役割、名古屋市が行っている仕事、陸前高田市と名古屋市の交流などを学んでいただきました。この子ども市会での体験が、皆さんの将来や自分たちの住む名古屋について少しでも考えるきっかけとなり、そして、それが名古屋のまちと皆さんの明るい未来につながることにできればとても嬉しいです。

また、「大好きな名古屋を笑顔あふれるまち」にするためのアイデア、陸前高田市と名古屋市の交流のアイデア、子ども市会に参加した感想などをたくさんいただきました。これらの真剣なご意見、名古屋に対する大変熱い想い、しっかりと心に受けとめさせていただいて、名古屋をもっと素晴らしいまちにしていきたいと改めて決意しました。本当にありがとうございました。

8月6日に議場見学会を行いました

なごや子ども市会に応募し、当選されなかった方を対象に、8月6日に「議場見学会」を開催しました。西川学議長、さわだ晃一副議長から議場についての説明などを聞いた後、写真を撮ったりしました。



議会についてもっと知りたい! そんな時は…

フリーレンたちと学ぶ地方議会

将来の地域を担う皆さんが、身近な困りごとや課題を自分のこととして考え、周りの人と話し合ったりして解決していくことの大切さや、地方議会・議員の役割などを知ってもらうため、漫画『葬送のフリーレン』のキャラクターを使用した主権者教育用リーフレットが作成されました。

ぜひ、下の二次元コードからダウンロードして、読んでみてください。

特設サイト「あなたと議会」

リーフレットをダウンロードできるほか、議会制度についてクイズ形式で楽しく学ぶことができます。



名古屋市会の傍聴

本会議と委員会の様子は、だれでも見たり聴いたりすることができます。これを「傍聴」といいます。ぜひ実際に市会の本会議や委員会を傍聴してみてください。



名古屋市会インターネット中継

本会議や委員会での議論の様子は、インターネットで生中継と録画中継(過去1年分)を見ることができます。パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末でも見ることができます。

